



2008年3月期中間決算説明会
決算概況および財務基本方針

株式会社カプコン
(東証・大証一部:9697)

将来の見通しに関する注意事項

この資料に記載されている経営戦略、計画や見通しなどは、過去の事実を除いて将来の予測であり、現時点において入手可能な情報や合理的判断の根拠とする一定の前提条件に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因によって、これら見通しとは大きく変動する場合があります。

また、当社を含め当業界は、ユーザーニーズの多様化など、市場環境の変化によっては業績が大きく振れる可能性があります。

業績等の変動要因としては、売上高の過半数を占める家庭用ゲームソフトのヒットの有無や販売本数の多寡、家庭用ゲームソフト開発の進捗状況、家庭用ゲーム機の普及動向、海外市場の売上状況、株価、為替動向、他社との開発、販売、業務提携、市場環境の変化などが挙げられます。

また、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

< 目 次 >

1. 中間連結損益計算書	・・・P 3
2. 中間連結貸借対照表	・・・P 8
3. 中間連結キャッシュ・フロー計算書	・・・P 12
4. 財務活動の基本方針	・・・P 14

1 . 2008年3月期中間連結損益計算書

2008年3月期 中間決算概況

2006/9実績 対 2007/9実績

(単位:百万円)

	2006/9	2007/9	増減
売上高	29,175	31,108	1,933
営業利益	3,042	3,058	16
経常利益	3,785	3,395	-390
中間純利益	1,918	1,603	-315

- ・ 前年同期比では、売上高、営業利益は上回るものの、経常利益、中間純利益は下回る
- ・ コンシューマ用ゲームソフト事業が開発費の低廉なタイトルを中心に健闘し、ほぼ前年並みの営業利益となった
- ・ 経常利益が前期比減となるのは、当期に為替差損(3.5億円程度)が発生したため

2008年3月期 中間決算概況

2007/9修正計画 対 2007/9実績

(単位:百万円)

	2007/9Plan	2007/9	増減
売上高	30,350	31,108	758
営業利益	2,400	3,058	658
経常利益	2,850	3,395	545
中間純利益	1,350	1,603	253

- ・ 計画比では、全項目で計画を上回る。
- ・ 修正計画発表後も、一部コンシューマ用タイトルが想定以上にリピートを伸ばし、売上、利益ともに貢献した

2008年3月期 中間決算概況のポイント

事業セグメント概況 2006/9実績 対 2007/9実績

(単位:百万円)

	2006/9	2007/9	増減
コンシューマ用 ゲームソフト	15,735	16,323	588
アミューズメント施設運営	6,466	6,375	-91
業務用機器販売	4,348	1,353	-2,995
コンテンツエキスパンション	1,333	5,644	4,311
その他	1,291	1,411	120
合計	29,175	31,108	1,933

- ・ 詳細は、「事業セグメント別概況および戦略」に記載

2008年3月期 中間決算概況のポイント

地域セグメント概況 2006/9実績 対 2007/9実績

(単位:百万円)

		2006/9	2007/9	増減
日本	売上高	18,978	23,766	4,788
	営業利益	2,941	4,515	1,574
	営業利益率	15.5%	19.0%	-
北米	売上高	6,568	4,554	-2,014
	営業利益	955	56	-899
	営業利益率	14.5%	1.2%	-
欧州	売上高	3,090	2,529	-561
	営業利益	455	191	-264
	営業利益率	14.7%	7.6%	-

- ・日本 コンシューマ用ゲームソフト事業が好調、コンテンツエキスパンション事業の増収一方で業務用機器販売事業の営業赤字が利益幅を押しとどめた
- ・北米 昨年に比肩する高価格のヒットタイトルに恵まれなかった(下期偏重計画)また、北米主導の開発が本格化したため、経費が先行
- ・欧州 北米同様に高価格商品に恵まれず、売上、利益ともに前期比では縮小

2 . 2007年3月期中間連結貸借対照表

2008年3月期 中間貸借対照表

貸借対照表 2007/3末時点 対 2007/9末時点

(単位:百万円)

	2007/3	2007/9	増減
流動資産	60,089	54,863	-5,226
固定資産	31,389	31,862	473
資産合計	91,478	86,725	-4,753

流動負債	19,747	15,546	-4,201
固定負債	26,586	22,604	-3,982
負債合計	46,334	38,150	-8,184
純資産合計	45,144	48,574	3,430
負債純資産合計	91,478	86,725	-4,753

2007年3月期 中間貸借対照表のポイント

貸借対照表 資産の部 主要変動項目

(単位:百万円)

	2007/3	2007/9	増減
現金及び預金	35,020	32,342	-2,678
ゲームソフト仕掛品	3,415	6,233	2,818
無形固定資産 その他	1,219	2,088	869

(1) 現金および預金

- ・ゲームソフト仕掛品への振替など

(2) ゲームソフト仕掛品

- ・2007年3月期に急減した後、適正水準へと漸増

(3) 無形固定資産 その他

- ・ITソフトウェア資産、およびオンラインコンテンツソフトの増加

2007年3月期 中間貸借対照表のポイント

貸借対照表 負債の部 主要変動項目

(単位:百万円)

	2007/3	2007/9	増減
短期借入金	755	2,155	1,400
新株予約権付社債	6,635	3,510	-3,125
長期借入金	3,430	1,680	-1,750

(1) 短期借入金・長期借入金

長期借入金から短期借入金へと振替

(2) 新株予約権付社債

ユーロ円建転換社債115億円(転換価格:1,217円)の転換促進
10月末現在、同社債残額21億円(転換率81%)

3 . 2007年3月期 中間連結キャッシュ・フロー計算書

2007年3月期 中間キャッシュ・フロー計算書のポイント

キャッシュフロー計算書 主要変動要因

(単位:百万円)

	2006/9	2007/9	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,330	203	-3,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	-3,895	-1,276	2,619
財務活動によるキャッシュ・フロー	-4,141	-1,205	2,936

(1) 営業活動によるキャッシュ・フロー

ゲームソフト仕掛品の増加(-3,460百万円)・仕入債務の減少(-1,816百万円)など

(2) 投資活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は企業買収行わず、また貸付金の回収(1,431百万円)など

(3) 財務活動によるキャッシュ・フロー

当中間期は自己株を取得せず

4. 財務活動の基本方針

財務活動の基本方針

財務活動の基本方針

(1) 事業活動に必要な資金の確保

現行事業の拡大・新規プロジェクト投資など、事業活動を行うために必要な資金を確保、維持

総額150億円のコミットメントライン枠を確保。機動的な資金調達が可能

(2) 流動性の維持

コミットメントラインによる流動性の補完

(3) 財務体質の改善

事業利益による、自己資本の着実な積み上げ

ユーロ円建新株予約権付社債(償還期限:2009年10月)の転換による有利子負債の減少
(10月末現在で、発行額115億円のうち、約94億円が転換)

第5回転換社債150億円(償還期限:2009年3月)への対応検討